



建設的な対話の実現に向けて

株式会社プロトコーポレーション 代表取締役社長 神谷 健司

この度は、平成28年度（第22回）「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」において新興市場銘柄部門の優良企業に選定頂き、誠に有難うございます。アナリストの皆様からの選定は、IR部門、その他の関連部門にとって非常に光栄なことであり、大きな励みとなります。改めて御礼申し上げます。

当社は、1977年の創業来、クルマ購入を検討している消費者に中古車情報を提供していますが、現在は消費者のカーライフをトータルサポートする仕組みを構築することを目的に、新車・中古車・整備の各事業領域において商品・サービスを展開しています。

IR活動においては、常に誠意ある態度で臨むことを第一に考え、機関投資家・アナリストの皆様との建設的な対話の実現に向け取り組んでいます。具体的には、①中長期ビジョンを説明した上で中期事業計画・成長戦略を定性的・定量的に分かりやすく説明し、資本市場から理解を得ること、②事業計画の進捗が見える化するため各事業においてKPIを設定し、企業価値向上のプロセスを資本市場の皆様と共有すること、③経営者として（IR部門はその代弁者として）、強い自覚と責任を持ちながら機関投資家・アナリストの皆様との対話に臨み、信頼関係を構築していくこと、以上の3点に注力しています。

国内の自動車業界はマクロ的に見て成長市場でないことは確かですが、このような時こそ近視眼的な取り組みや足下の実績のみを伝えるのではな

く、当社の中長期ビジョンを明確に示した上で、非財務情報や中長期の視点で見た場合の経営課題やリスク等も積極的に伝えていくことが必要であると考えています。私自身もIR活動には積極的に参加させて頂いていますが、特に企業価値の向上という共通の目的を持った機関投資家・アナリストの皆様との対話の時間は非常に貴重です。皆様からお尋ね頂いたことに対して回答することは勿論ですが、当社が持続的な成長と中長期的な企業価値向上を果たすための方針・戦略についてお話しした上で、第三者の目線からその時間軸や手法に問題はないかご意見を頂くことが重要な示唆に繋がることも多々あります。また、当社の方針・戦略に疑問を持たれているような場合についても対話を通じて正しくご理解頂くことができ、私としても、対話を重ねることにより浮き彫りになった課題や潜在的なリスクに確りと向き合うことで、次の一手に反映していくことが可能となります。

今後も決算説明会、IRミーティング、国内カンファレンス、海外ロードショー、個人投資家向け会社説明会等、可能な限り対話の機会を設けるとともに、投資家・アナリストの皆様から頂いたご意見や要望を当社の更なる成長に繋げてまいります。数多ある上場企業の中から、少しでも当社に注目頂けるよう努めてまいりますので、是非、中長期の視点で成長過程を見守って頂くとともに、ご指導ご支援頂ければと思います。引き続き、宜しくお願い申し上げます。